

がんゲノム研究から

がんゲノム医療への応用と実践

第23回がんプロ公開セミナー | 第197回キャンサーボード

2018 / 3 / 16 (金) 18:00～19:00

JR「新杉田駅」、京浜急行「金沢八景駅」より、
シーサイドライン「市大医学部駅」下車徒歩1分

横浜市立大学へボンホール

自治医大会場：記念棟9階 会議室
(遠隔同時講義を予定しています)



東京大学大学院医学研究科 ゲノム医学講座 特任助教

高 阪 真 路 先生

時代の進化とともに、次世代シーケンサー(NGS)を用いた多遺伝子検査の実施、クリニカルシーケンスの活用によりPrecision Medicineと言われる精密医療の重要性に注目が集まっています。

高阪先生は、北海道大学大学院医学研究科博士課程修了後、米国Memorial Sloan Ketteringのclinical sequenceの第一人者Marc Ladanyi博士のもと、がんトランスレーショナルリサーチに従事。帰国後は東京大学ゲノム講座の間野教授のもとNGSを用いたがん研究に従事し、本年度より東大病院で開始されたがん医療のクリニカルシーケンスを推進しております。今回、最先端のゲノム医療についてご講演頂きます。

皆様のご参加をお待ちしております。

主催 横浜市立大学大学院医学研究科 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン

共催 横浜市立大学附属病院医学・病院企画課, 大学区医師会

後援 公益社団法人 神奈川県病院薬剤師会

日本医師会生涯教育制度-1単位 (カリキュラムコード-1, 3, 10)
神奈川県病院薬剤師会生涯研修制度-0.5単位